

～ 医療法人わかば会のケア情報誌 ～

わかば倶楽部

✓ 第4回 九州アルツハイマー型
認知症研究会

Vo.35
2月号

February
2014

編集・発行／医療法人わかば会
〒857-0016 佐世保市俵町 22-1
Tel 0956-22-6548 Fax 0956-24-7270
<http://www.wakabakai.or.jp>

✓ 里山療法クラブでの活動



わかばテラスでは賑やかなお正月をむかえました

2月14日は、キリスト教の聖人・バレンタインの記念日です。キリスト教の本場の西欧では、バレンタインデーを「愛の日」として、恋人同士で花、プレゼント、バレンタインカードなどを贈りあう習慣があります。日本では女性が男性にチョコレートを贈り、思いを伝える日として一般的に知られていますが、これは驚いたことに日本特有の習慣だそうです。日本人は、クリスマスやバレンタインデーのように、異教の文化を取り入れ独特の行事に変化させるのがお得意のようです。

里山レシピのご紹介

「ひじき米粉
シフォンケーキ」
1人前 144 Kcal



材料 18cmのシフォンケーキ型
1個分(約8人分)

- 卵黄(L)..... 3個分
- 砂糖..... 60g
- 牛乳..... 80cc
- バニラエッセンス..... 数滴
- 乾燥ひじき..... 90g
- 卵白(L)..... 3個分

ワンポイントアドバイス
◎メレンゲは、泡立て器です
くいあげたときに角がおじ
きするくらいが八分だての
目安です。

作り方

- ① ボウルに卵黄と砂糖の1/2量を入れ、泡立て器でよく混ぜる。色が白く、もったりした状態になったら、牛乳とバニラエッセンスを加えてよく混ぜる。
- ② ひじきは水で戻して水気を絞り、みじん切りにする。①に加えて泡立て器でよく混ぜ、さらに上新粉を加えてよく混ぜる。
- ③ メレンゲを作る。水気を拭き取ったきれいなボウルに卵白を入れ、ハンドミキサーで泡立てる。粗い泡状になり白っぽくふくらしてきたら残りの砂糖を加え混ぜて八分だてにする。
- ④ ②に③のメレンゲを2回に分けて加え、その都度ゴムべらでさっくりと混ぜ合わせる。
- ⑤ 型に、生地を大きな気泡が入らないように高い所から流し入れる。160℃に予熱したオーブンに入れ、焼き色を見ながら約25分焼く。
- ⑥ 焼き上がったら、すぐに型ごとビンなどの上に逆さまにしてのせ、冷ます。冷めたら型と生地の間にはナイフを入れて型はずす。

医療法人わかば会

- 俵町浜野病院 (Tel 0956-22-6548)
【医療】内科・外科・循環器科・呼吸器科・消化器科・整形外科
肛門科・リハビリテーション科
病室(一般病棟26床・療養病棟38床)
【介護】居宅介護支援事業所・ヘルパーステーション
デイケアセンター・グループホーム・訪問看護ステーション
- 有料老人ホームわかばテラス (Tel 0956-76-8780)
【介護】デイサービス風祭り・デイサービス里山療法クラブ
- サービス付高齢者向け住宅わかばレジデンス (Tel 0956-22-6544)
- 小規模多機能ホームわかばハウス (Tel 0956-22-6535)

わかば会の理念

wakaba-gokoro
わかばこころ

和

和をもって、一人ひとりの施設づくり

環

環になって、患者さまとの健康づくり

話

話によって、みんなで育む関係づくり



デイサービス

里山療法クラブ

わかば会が取り組んでいる里山療法のなかで、この時期一番力を入れている作業が、「里山料理作り」です。わかばテラス内の認知症対応型通所介護「里山療法クラブ」では、部屋から出てすぐのポタジェ（装飾菜園）から作物を収穫し、新鮮な野菜や果物をすぐに調理しています。作った料理やおやつは、昼食時やおやつの時間に、自分たちだけではなく、わかばテラスの皆さんにも食べていただいています。男性の利用者様も積極的に取り組まれ、とても喜んでいただき、この場所はいつも笑顔であふれています。今回、その一部をご紹介します。



2014年も皆様の素敵な笑顔で幕をあげました

第4回九州アルツハイマー型認知症研究会



<目的>

アルツハイマー型認知症に対する薬物療法の治療効果を高めるため、より効果的な非薬物療法と考えられる、園芸療法と森林療法を合わせた「里山療法」を行い、その意義について検討した。

<方法>

I. 薬物治療群(88例)
Ch. E 阻害剤 and/or NMDA受容体拮抗薬を使用

II. 非薬物療法群(81例)

A) 里山療法: 有料老人ホームわかばテラスとガーデン
① 通所介護(デイサービス風祭り)
野菜の収穫・収穫・ガーデンの散歩や屋外スポーツ
音楽運動療法・タクティルケア・芸術療法
回想療法・学習療法・パワーリハビリ訓練など
② 認知症対応型通所介護(里山療法クラブ)
上記メニューに加え
ヒトモロコシの観察研究・里山料理・着足の散歩
スイートピー等の花の栽培(押し花・リース……)

B) 通所リハビリ(デイケアわかば): 病院2階・屋上ガーデン
園芸療法・音楽運動療法・芸術療法・回想療法
学習療法・パワーリハビリ訓練 など

<考案>

I. 薬物療法を行った群でみると

- 薬物療法に里山療法を合わせて行くと、MMSEの改善がみられた。
- 薬物療法のみを行った(C)群と、それに加えて通所リハでの活動を行った(B)群は、ともにMMSEが-0.7、-0.8と若干悪化した。無治療の(E)群に比べると、悪化は有意に抑えられていた。
- 里山療法を行った(A)群では、通所リハでの非薬物療法(B)群や、薬物療法のみ(C)群に比べるとMMSEは有意に改善していた。

II. 薬物療法を行わなかった群についてみると

- 軽症例が多く、MMSEの改善は有意ではなかったが、少なくとも悪化の傾向はなかった。
- そして無治療で自然経過をみた(E)群に比べると、MMSEの悪化は有意に阻止されていた。

<結語>

認知症治療薬の効果は、投与後1年を過ぎると減弱し、その後は悪化していくことが知られているが、薬物療法や、それに通所リハ活動を加えた治療を行うことで、自然経過例に比べ、悪化が有意に抑えられた。さらに非薬物療法の中でも里山療法を行うと、MMSEはむしろ改善され、薬物療法だけ行った場合や、それに通所リハ活動も行った場合に比べ、その改善は明らかに有意であった。里山療法は、薬物療法の治療効果を高める、より効果的な非薬物療法であると考えられた。



平成26年1月25日(土)、第4回アルツハイマー型認知症研究会が、福岡のホテルニューオータニ博多で開催されました。当日は九州各県から約600名の医師が集まり、認知症に関わる病院や施設・地域での取り組みを、各県の代表が発表しました。長崎県からは当法人の浜野理事長が、「薬物療法と非薬物療法(里山療法)の併用の効果」認知症治療開始後1年以上経過した症例について」という演目で、有料老人ホームわかばテラスで取り組んでいる「里山療法」に焦点をあて、MMS Eのデータを基に、里山療法は薬物療法の治療効果を高めるより効果的な非薬物療法であることを発表いたしました。

